

令和元年度

福臨技臨床検査精度管理調査報告書

## 8.2 細胞検査

2019.10

一般社団法人 福島県臨床検査技師会

## 令和元年度 細胞検査フォトサーベイ

### 【目 的】

- 1.細胞検査技術の共有
- 2.判定・診断能力の維持および向上
- 3.細胞検査の運用に役立てる

### 【設問分野】

- 設問 1． 婦人科
- 設問 2． 呼吸器
- 設問 3． 泌尿器
- 設問 4． 乳腺
- 設問 5． 消化器

教育症例. 婦人科（子宮頸部擦過）

### 【評 価】

設問 1～5 までは評価対象問題で、教育症例は評価対象外です。

「臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法に関する日臨技指針」に基づき評価を行いました。

# 設問・解答・解説

## 設問 1

症 例 : 30 歳代、女性  
臨床所見 : 婦人科検診  
検 体 : 子宮頸部擦過、LBC  
写 真 : 図 1 Pap ×10 図 2 Pap ×60  
図 3 Pap ×60 図 4 Pap ×60

- ① : NILM                      ② : ASC-US                      ③ : LSIL (軽度異形成)  
④ : HSIL (高度異形成)      ⑤ : SCC (扁平上皮癌)

### 正解③ : LSIL (軽度異形成)

核腫大、核クロマチン増量、多核化などの異型細胞が表層型扁平上皮細胞に見られます。核周囲の空洞化も明瞭でコイロサイトーシスを認めます。異型細胞は集塊状に出現しており、出現量も多いです。核所見が乏しければ ASC—US も考慮しますが、LSIL の典型像と考えます。

## 設問 2

症 例 : 60 歳代、男性  
臨床所見 : サルコイドーシス、肺腫瘍、悪性リンパ腫などを疑う胸部異常陰影  
検 体 : YM 蓄痰  
写 真 : 図 1 Pap ×60 図 2 Pap ×60  
図 3 Pap ×60 図 4 Pap ×60

- ① : クリプトコッカス症      ② : ニューモシスチス肺炎      ③ : サルコイドーシス  
④ : 悪性リンパ腫              ⑤ : 腺癌

### 正解① : クリプトコッカス症

YM 蓄痰のため細胞変性を伴いますが、多核組織球の胞体内にはライトグリーン好性の縁取りをもった円形で淡い色の胞子が見られます。よく見ると二重の縁取りが認められ莢膜の存在が示唆されます。胞子の大きさに大小不同が目立つのが特徴で、赤血球貪食やニューモシスチス・イロヴェチなどと鑑別が可能と思われれます。

### 設問3

症 例 : 60 歳代、男性  
臨床所見 : 腎盂腫瘍疑い  
検 体 : カテーテル尿 (分腎尿)、LBC  
写 真 : 図1 Pap ×10 図2 Pap ×40  
図3 Pap ×40

- ① : 反応性異型尿路上皮細胞      ② : ウイルス感染細胞      ③ : 扁平上皮癌  
④ : 腺癌      ⑤ : 高度異型尿路上皮癌

#### 正解⑤ : 高度異型尿路上皮癌

弱拡大において細胞集塊の核染色性に濃淡が見られます。核の淡染した集塊は核腫大を示しますが核異型に乏しく、平面的で反応性が示唆されます。一方、濃染核の集塊は細胞密度が高く、N/C 比の増大や核形不整、核の不規則重積が認められます。これらの細胞は、周辺の細胞と比較しても高度な細胞異型を有し、悪性が示唆されます。

### 設問4

症 例 : 40 歳代、女性  
臨床所見 : 右乳腺 C 領域 53×33mm 大の腫瘍  
検 体 : 右乳腺 穿刺吸引  
写 真 : 図1 Pap ×20 図2 Pap ×40  
図3 Pap ×40

- ① : 線維腺腫      ② : 乳管内乳頭腫      ③ : 浸潤性乳管癌  
④ : 浸潤性微小乳頭癌      ⑤ : 葉状腫瘍

#### 正解④ : 浸潤性微小乳頭癌

小型～中型の球状あるいは不整形細胞集塊を多数認めます。個々の細胞は核の腫大および N/C 比の増大、核の大小不同、核形不整、核クロマチンの増量、核小体、核分裂像などの細胞異型を認めます。背景に粘液は認められず、浸潤性微小乳頭癌を考えます。

### 設問5

症 例 : 80 歳代、女性  
臨床所見 : 総胆管拡張、急性胆嚢炎疑い  
検 体 : 胆汁

写 真 : 図 1 Pap ×20 図 2 Pap ×40  
図 3 Pap ×40 図 4 Pap ×40

① : 良性上皮細胞                      ② : 扁平上皮癌                      ③ : 腺癌  
④ : 腺扁平上皮癌                      ⑤ : 肝細胞癌

**正解③ : 腺癌**

核の腫大と大小不同、核形不整、核クロマチンの増量を呈し、小型集塊や重積性集塊で出現する異型細胞を認めます。小型集塊では核の突出像を認め、細胞質に粘液を有し腺癌を考えます。

教育症例 : 評価対象外です。

**教育症例**

症 例 : 30 歳代、女性  
臨床所見 : 子宮頸癌疑い  
検 体 : 子宮頸部擦過  
写 真 : 図 1 Pap ×20 図 2 Pap ×40  
図 3 Pap ×40 図 4 Pap ×40

① : HSIL (上皮内癌)    ② : SCC (扁平上皮癌)    ③ : Adenocarcinoma (腺癌)  
④ : Other malig. (小細胞神経内分泌癌)    ⑤ : Other malig. (悪性リンパ腫)

**正解④ : Other malig. (小細胞神経内分泌癌)**

N/C 比の著明な増大、核形不整、核クロマチンの増量と不均等な分布を呈し、重積性集塊にて出現する小型の異型細胞を認めます。核クロマチンパターンは、ごま塩状で胞体は目立たず裸核状細胞です。小細胞神経内分泌腫瘍を考えます。

## 細胞検査サーベイ 解答一覧表

施設番号	問1	問2	問3	問4	問5	教育問題
4	③	①	⑤	④	③	④
11	③	①	⑤	④	③	④
12	③	①	⑤	④	③	④
14	③	①	⑤	④	③	④
15	③	①	⑤	④	③	④
16	③	①	⑤	④	③	④
23	③	①	⑤	④	③	④
28	③	①	⑤	④	③	④
30	③	①	⑤	④	③	④
31	③	①	①	④	③	④
32	③	①	⑤	④	③	④
41	③	①	⑤	④	③	④
43	③	①	①	④	③	④
45	③	①	⑤	④	③	④
47	③	①	⑤	④	③	④
48	③	①	⑤	③	③	④
51	③	①	⑤	④	③	④
52	③	①	⑤	④	③	④
57	③	①	①	④	③	④
正解番号	③	①	⑤	④	③	④
正解率(%)	100	100	84	95	100	100

## 細胞検査サーベイ 検査評価

施設番号	判 定			
	A	B	C	D
4	5			
11	5			
12	5			
14	5			
15	5			
16	5			
23	5			
28	5			
30	5			
31	4			1
32	5			
41	5			
43	4			1
45	5			
47	5			
48	4			1
51	5			
52	5			
57	4			1

※判定A: 正解設問数、判定D: 不正解設問数です。

※教育問題は、評価対象外です。

## 細胞検査フォトサーベイのまとめ

### 1. フォトサーベイについて

令和元年度は、例年通り設問 5 題に教育症例 1 題を加えた計 6 題のフォトサーベイを実施しました。設問は、①婦人科、②呼吸器、③泌尿器、④乳腺、⑤消化器。教育症例は婦人科（子宮頸部擦過）材料を提示しました。

設問 1 婦人科、正解率 100%。

設問 2 呼吸器、正解率 100%。

設問 3 泌尿器、正解率 84%。

設問 4 乳腺、正解率 95%。

設問 5 消化器、正解率 100%。

今回の設問では、設問 1、設問 2、設問 5 の正解率 100%、設問 3 の正解率 84%、設問 4 の正解率 95%でした。それぞれの細胞像の特徴的な所見を捉えれば組織推定は可能と思われます。しかし、泌尿器分野においては、反応性異型尿路上皮細胞と悪性細胞との鑑別で回答が分かれました。反応性異型尿路上皮細胞と悪性細胞との鑑別は、日々の鏡検でも苦慮する場合があります。今回の解説を参考に確認をお願いします。また、LBC 法による標本作製問題を 2 題出題しました。全国的に LBC 法による標本作製での細胞診断が日常業務で行われていることもあり、今回の精度管理調査で初めて採用しました。また、昨年 of 細胞検査士資格試験から婦人科領域の同定問題で LBC 法による標本問題が採用されたこともあり、今後も LBC 法による標本作製問題を取り入れて行きたいと考えております。

教育症例は、子宮頸部擦過材料での小細胞神経内分泌癌でした。本症例は子宮頸癌の 5%以下と比較的まれな腫瘍であり 30 後半～40 代前半に多く見られ、不正性器出血を主訴とすることが多いです。また、子宮癌検診が契機となって発見される場合もあります。予後は、非常に悪く HPV (18 型) 感染が関与しております。細胞形態は、肺腫瘍の小細胞癌と類似しており、本症例との鑑別診断として Ewing (ユーイング肉腫ファミリー腫瘍) や悪性リンパ腫などが挙げられます。

最後に、細胞検査フォトサーベイに標本を提供して頂いた寿泉堂総合病院 臨床検査科 平山 貴博技師、星総合病院 病理診断科 緑川 勝彦技師ならびに多くのご助言を頂いた白河厚生総合病院 病理診断科 野沢 佳弘先生、大原総合病院 病理診断科 内海 康文先生に深く感謝申し上げます。また、今後も細胞検査フォトサーベイを継続的に実施するためにも会員の皆様方の標本提供にご協力をお願い致します。

# 設問 1

図1 Pap ×10

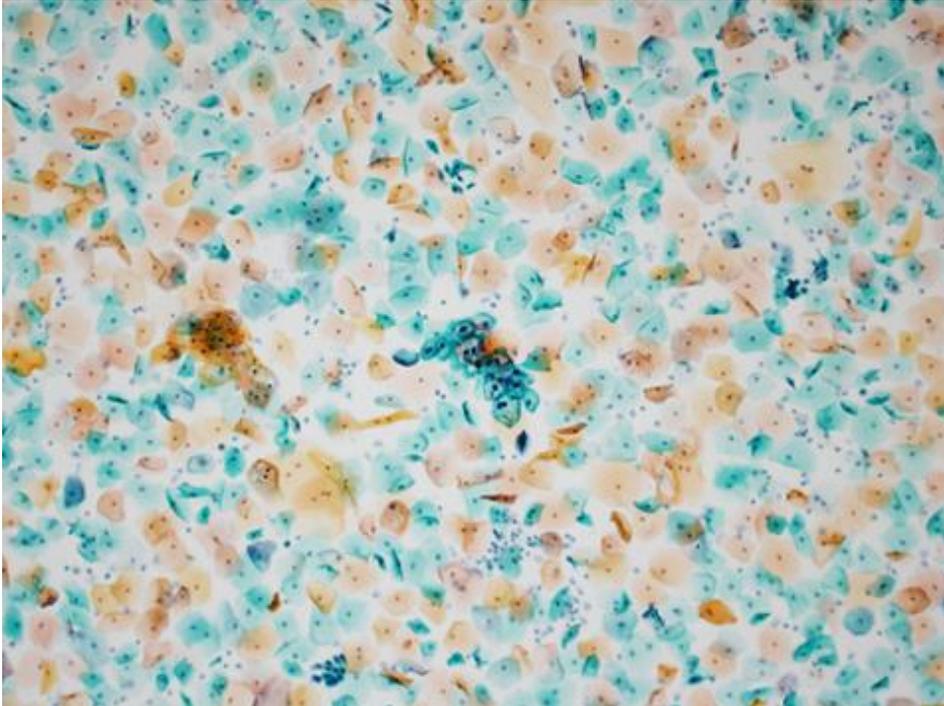


図2 Pap ×60

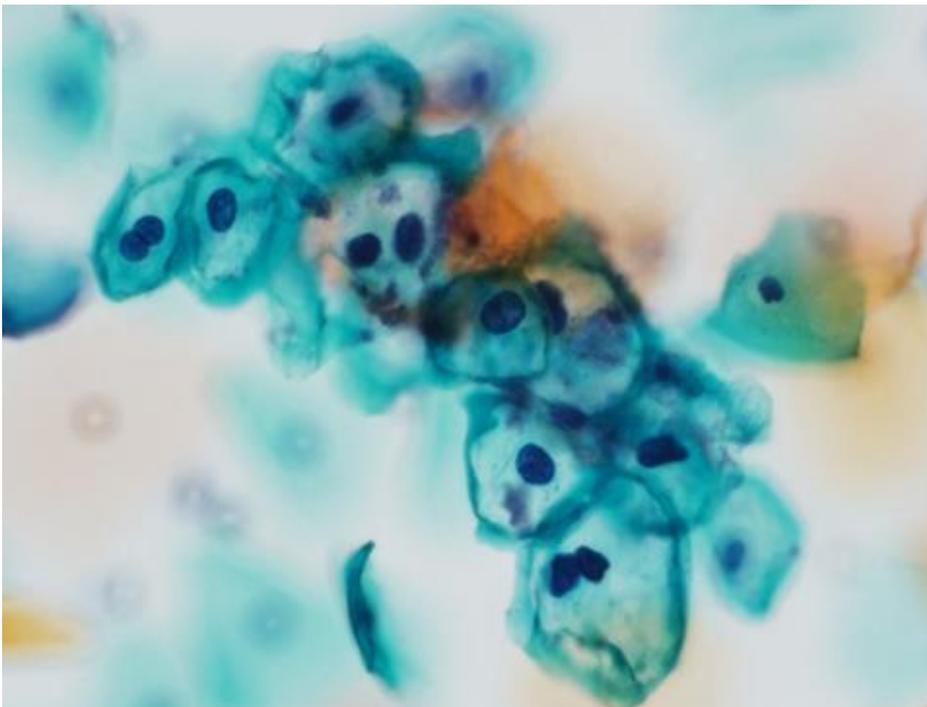


図 3 Pap ×60

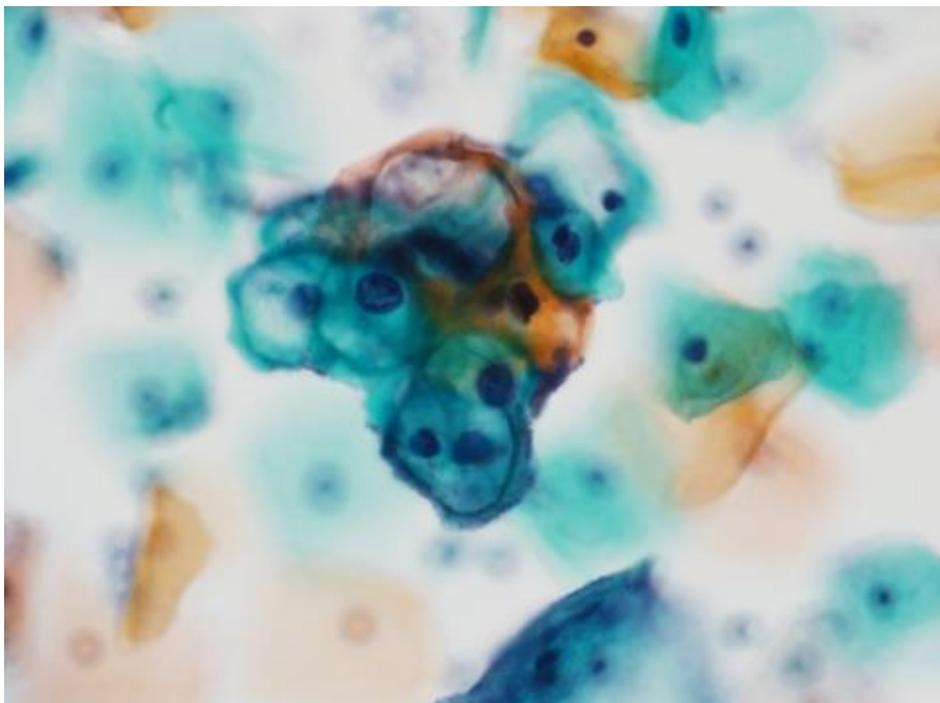
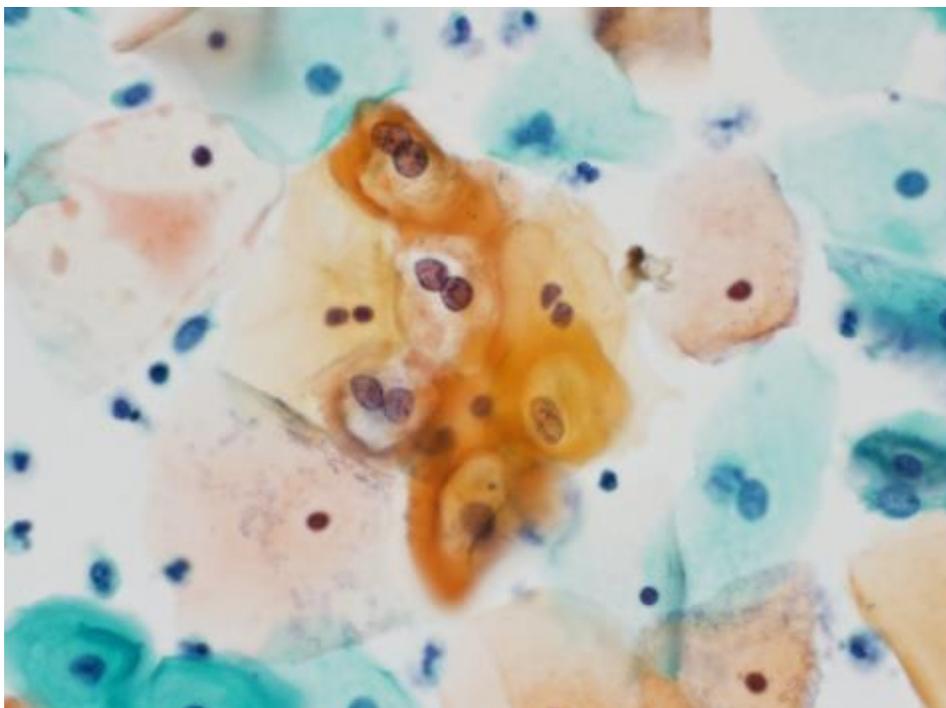


図 4 Pap ×60



## 設 問 2

図1 Pap ×60

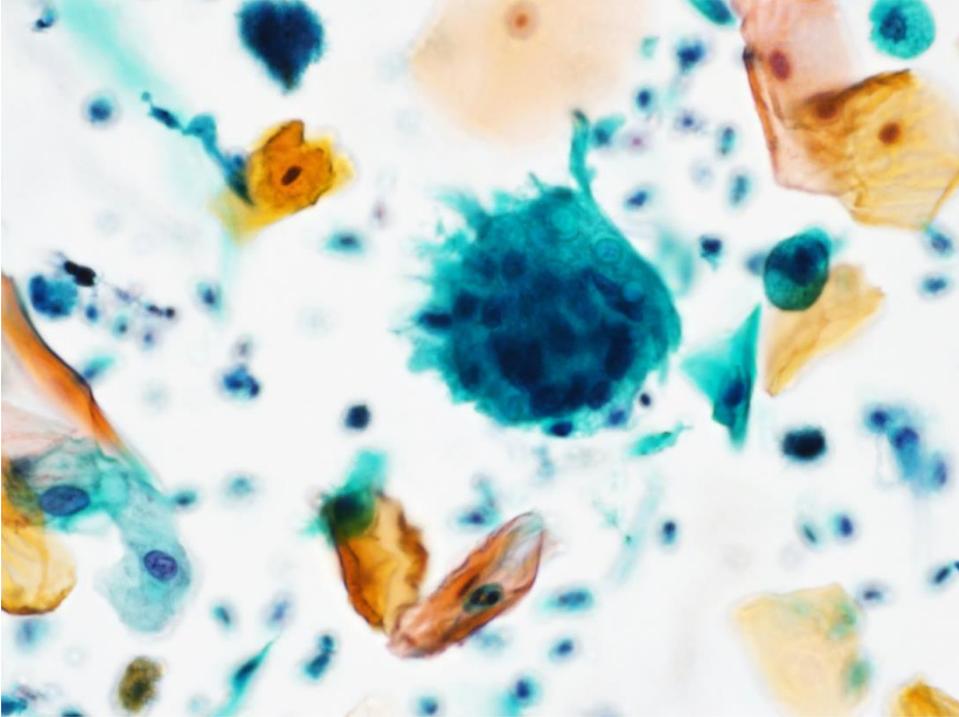


図2 Pap ×60

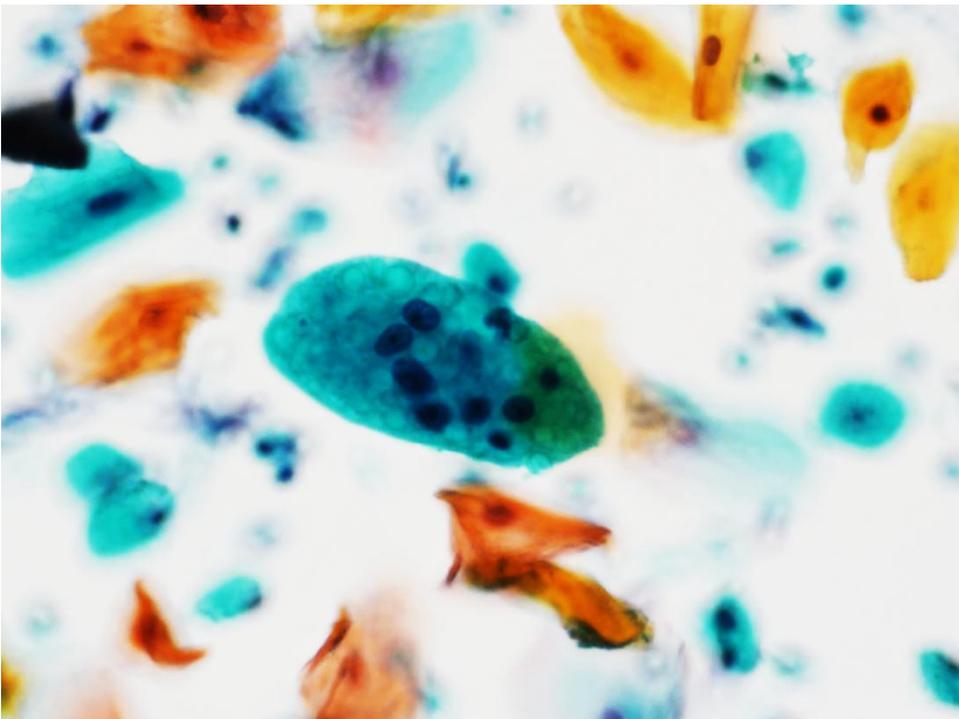


図3 Pap ×60

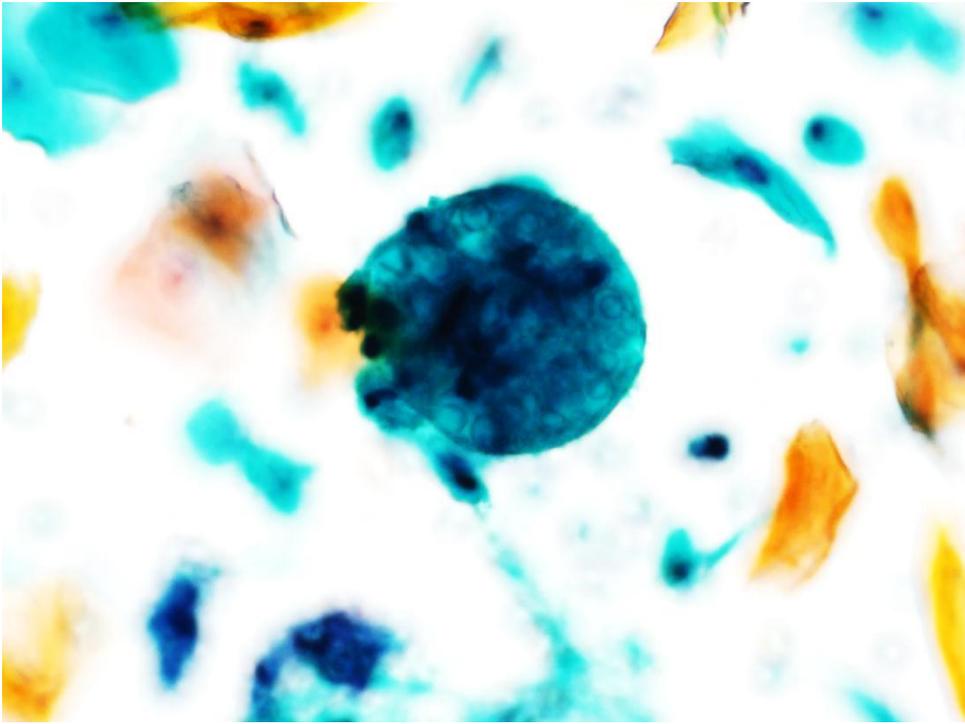
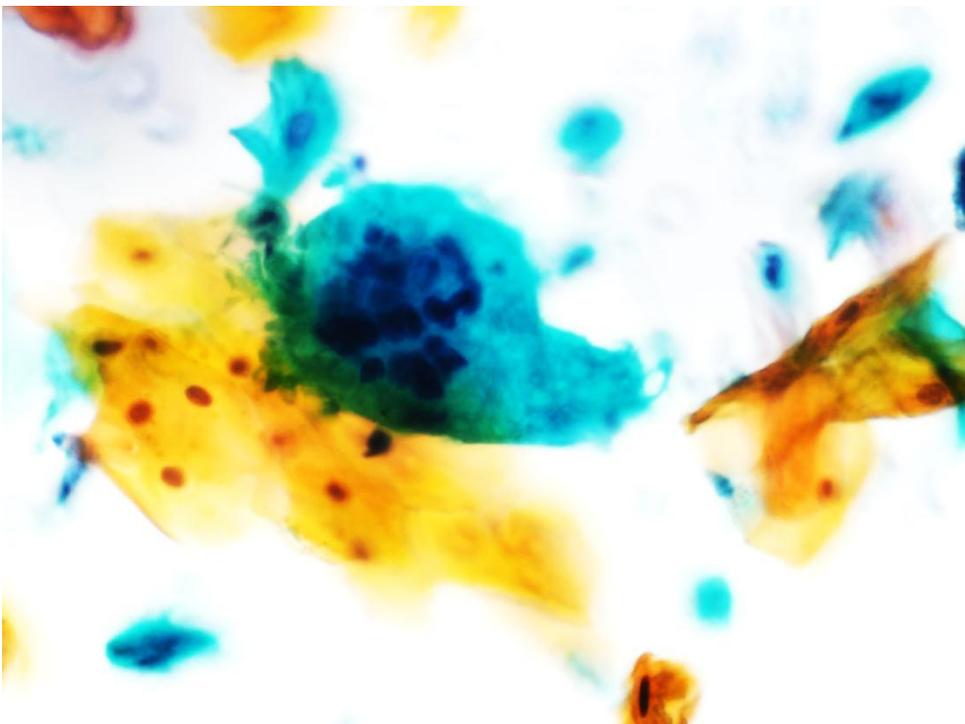


図4 Pap ×60



### 設 問 3

図1 Pap ×10

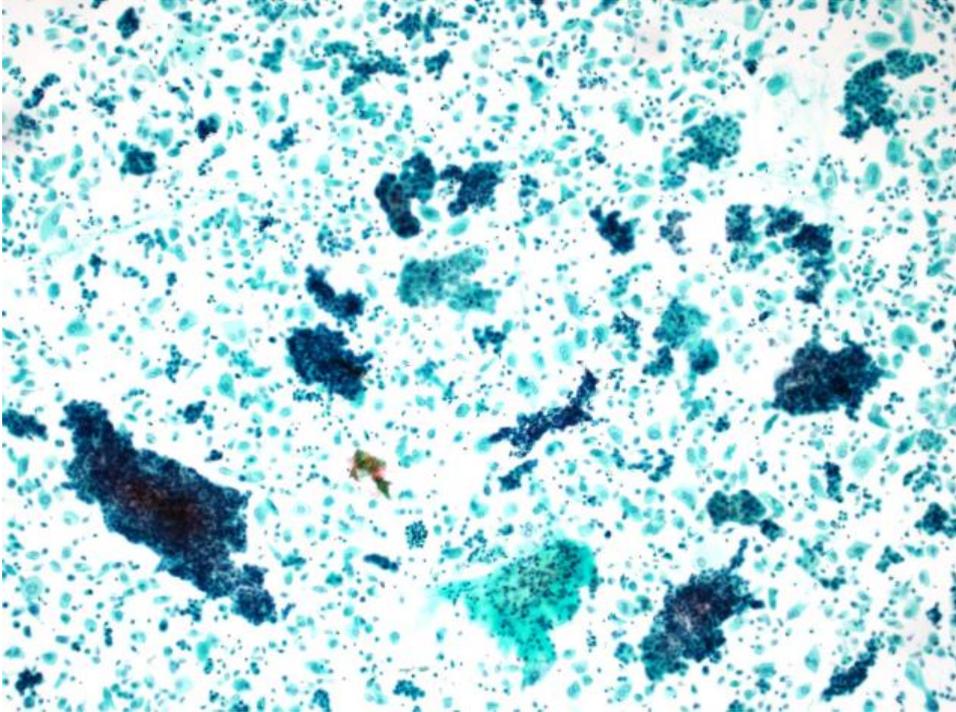


図2 Pap ×40

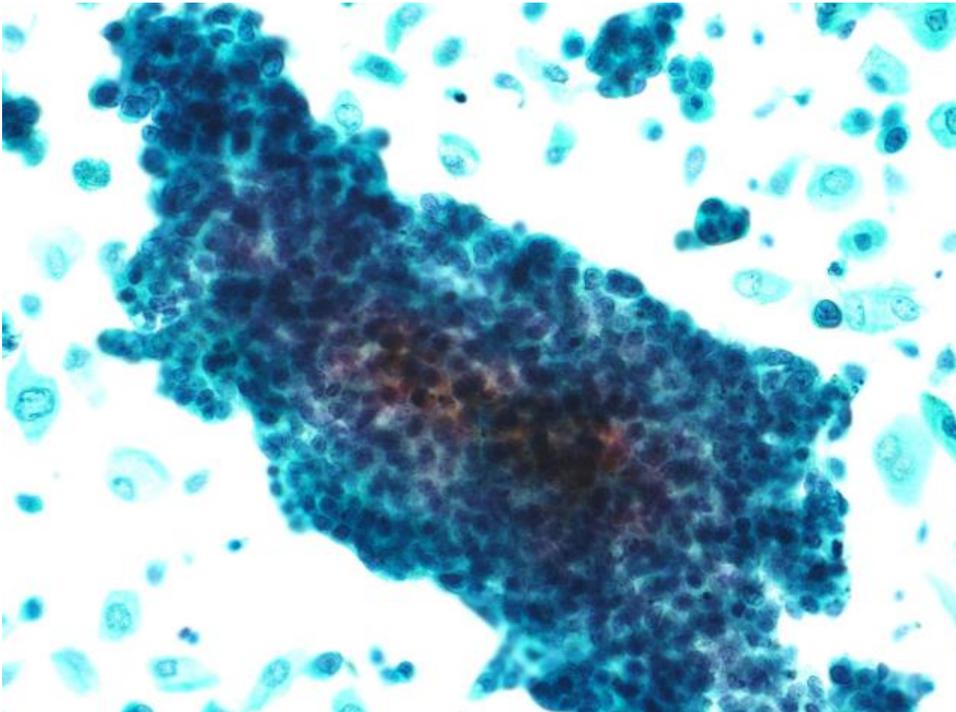
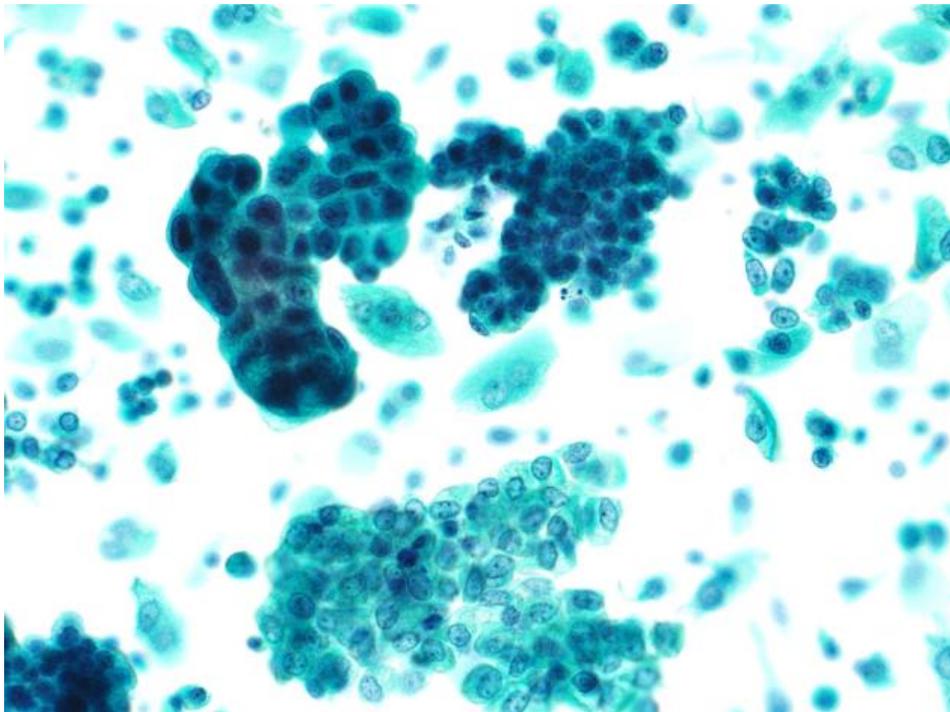


図3 Pap ×40



# 設問 4

図1 Pap ×20

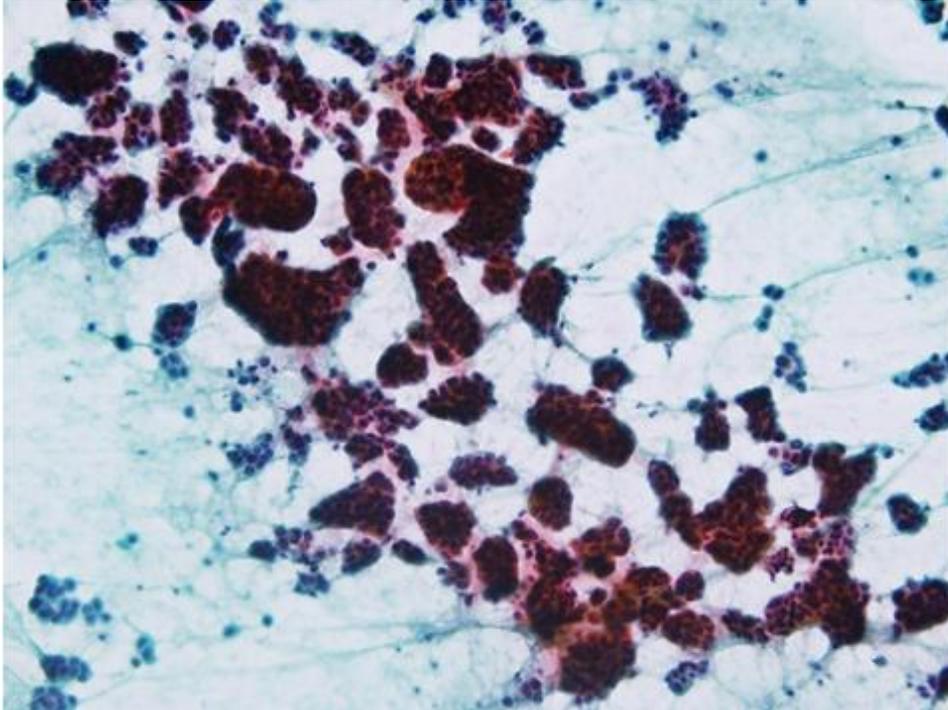


図2 Pap ×40

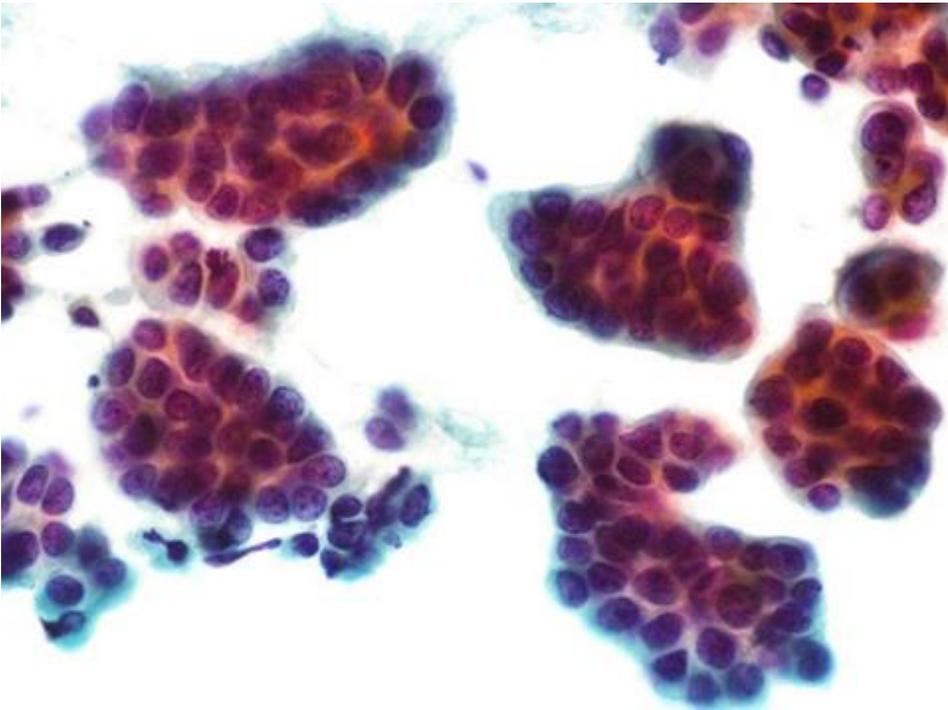


図 3 Pap ×40



## 設問 5

図1 Pap ×20



図2 Pap ×40

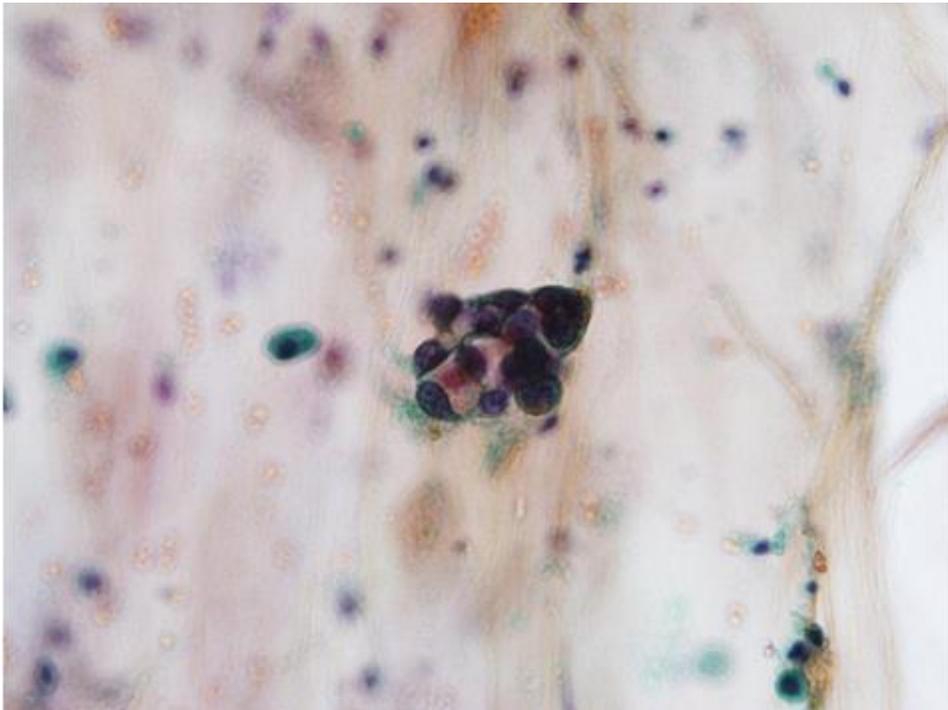


図3 Pap ×40

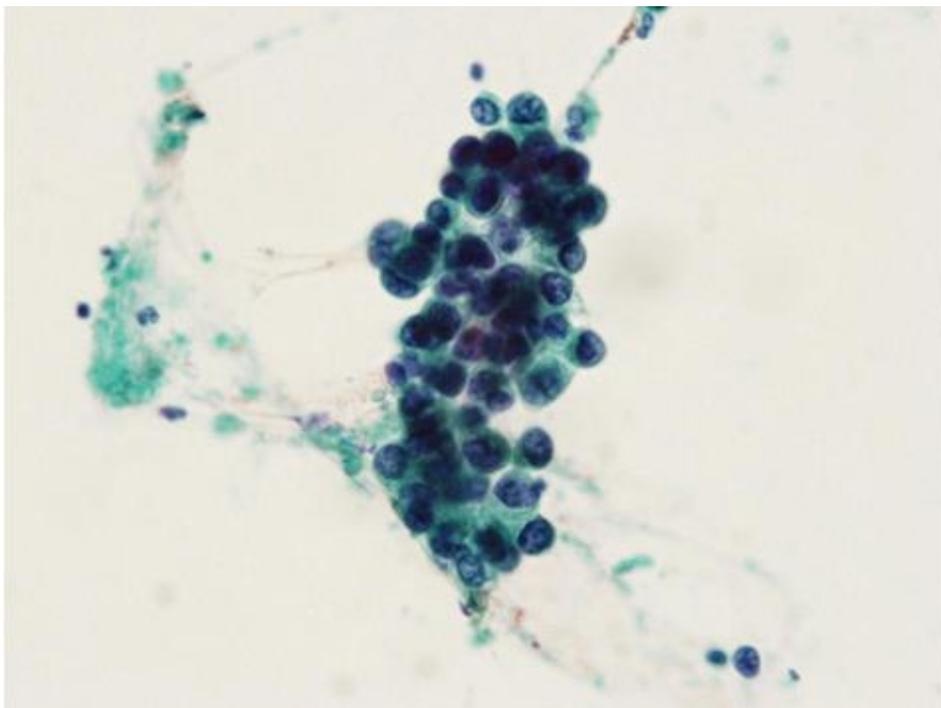
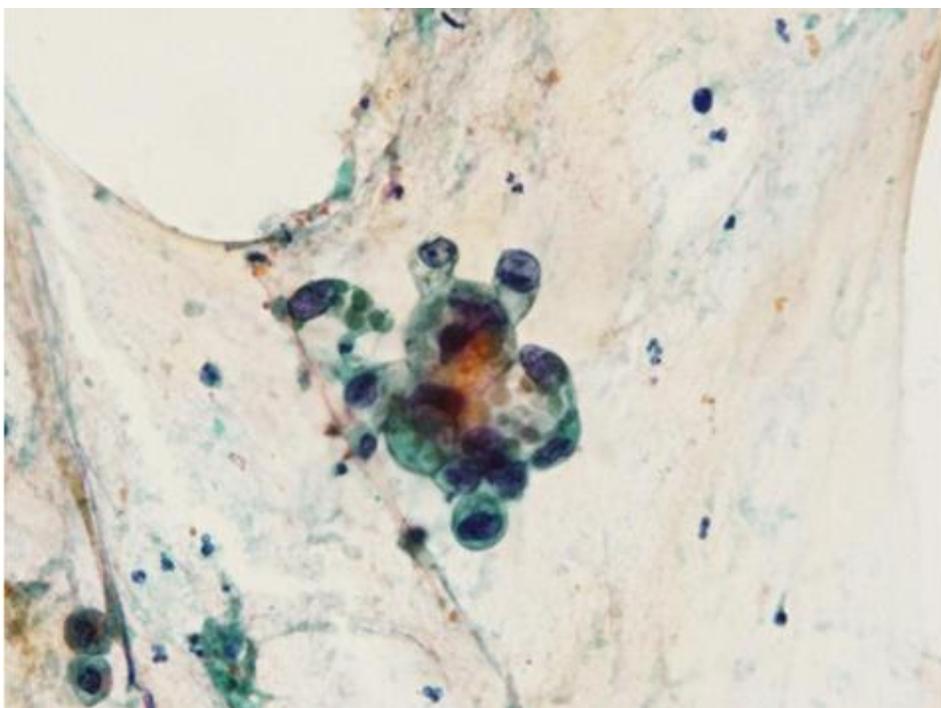


図4 Pap ×40



## 教育症例

図1 Pap ×20

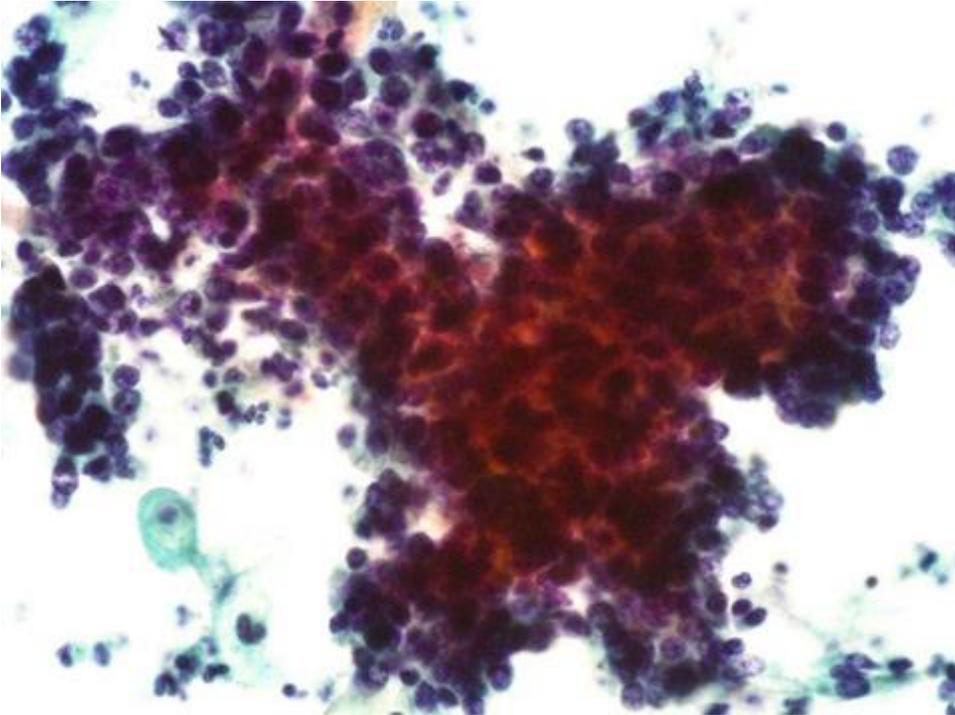


図2 Pap ×40

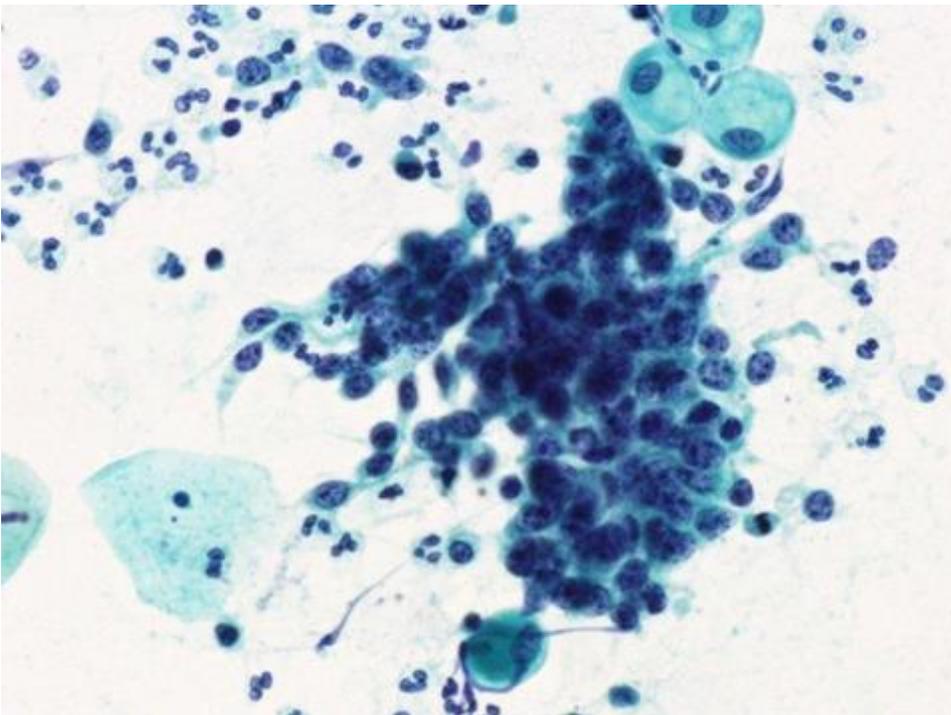


図3 Pap ×40

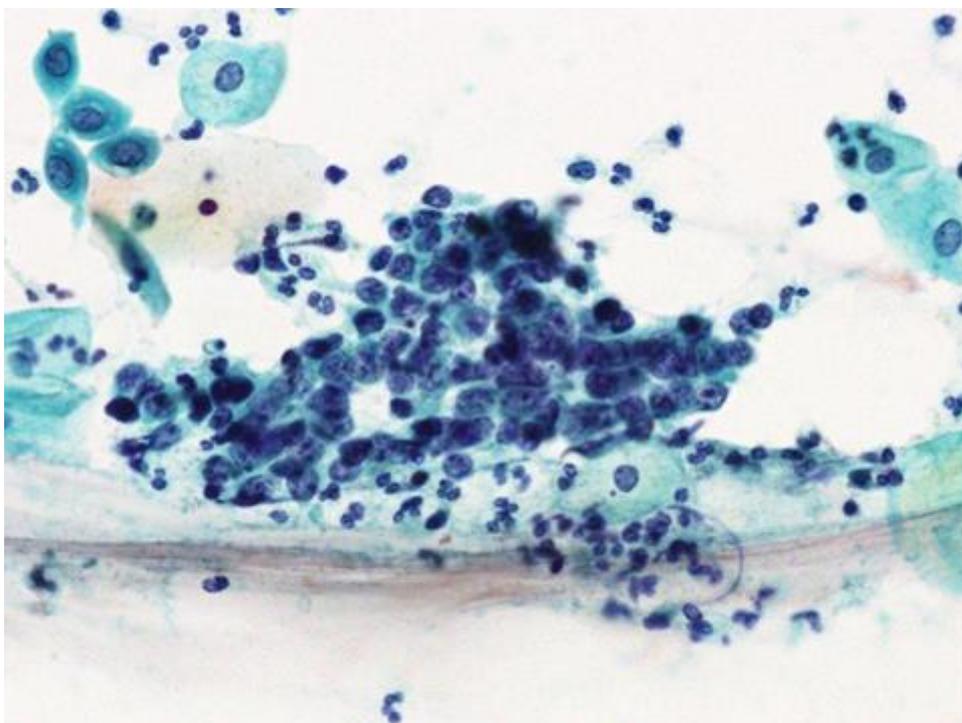


図4 Pap ×40

